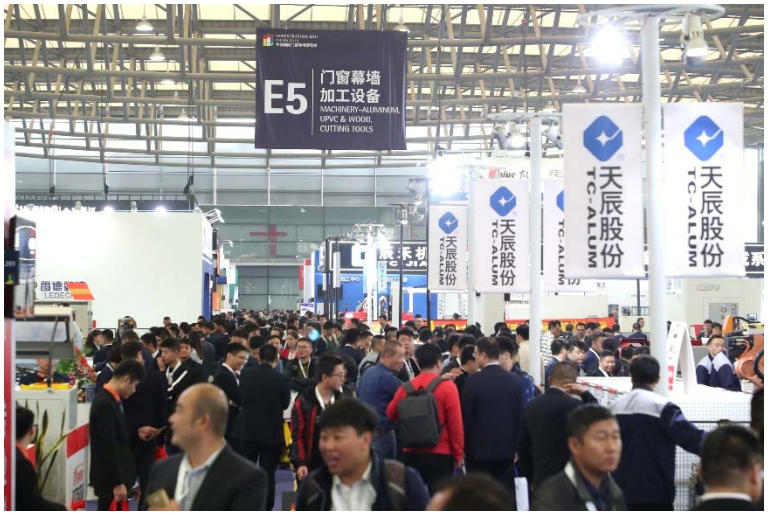
BAU China 2019
ファイナルレポート

アジア太平洋建材・建築システム・建築ソリューション見本市
2019 年 11 月 5 日（火）～8 日（金）
中国・上海新国際見本市会場

2019 年 11 月 18 日

BAU China
アジアをリードする建築専門見本市　記録を更新

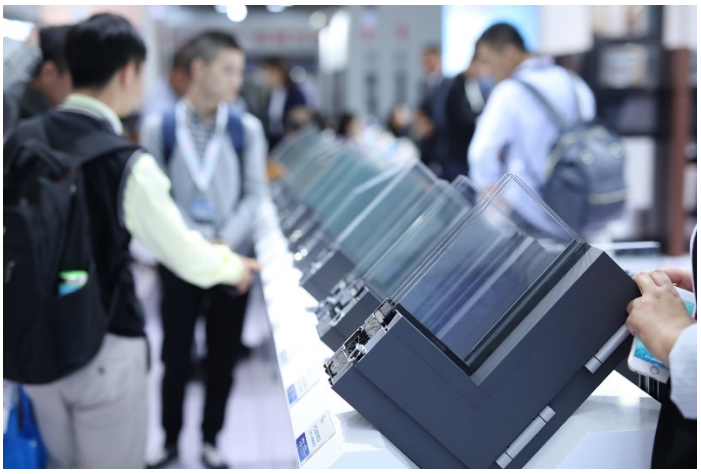
- 778 社が出展（19%増）
- 総来場者数；120,000 人以上
- 2 ホールを増設（2017 年の初開催時比）
- アジアにおける業界の未来：
  よりデジタル化、より接続可能、より高いエネルギー効率



Facts＆Data

会　　期	2019 年 11 月 5 日（火）～8 日（金）　9 時～17 時半（最終日 14 時まで）
会　　場	中国・上海新国際見本市会場
主　　催	MMU BAU FENESTRATION Co. Ltd.
規　　模	54,000 ㎡（2018 年：51,034 ㎡）
出　展　社　数	778 社（2018 年：20 カ国から 656 社）
来　場　者　数	78 カ国から 120,000 人（2018 年：68 カ国から 100,000 人）
主 な 出 展 品	窓及びドアシステム、カーテンウォールシステム、外壁材、建築用ガラス、屋根と天井の建設、ビルディングオートメーション、ハードウェアフィッティング、プレハブ材、エネルギー効率が高いスマートソリューション、建築化学、構築ツール、床仕上げ材、断熱材、建築技術、IT インテグレーション、照明技術
来 場 対 象 者	窓、ファサード製造業者、販売店、代理店、建築家・技師、インテリア・構造・景観設計士、エネルギーコンサルタント、関係当局、建築業全般、各専門業者・職人、デベロッパ、不動産・ファシリティ・ファンドマネジャー、建材専門店、DIY ストア、業界団体、大学、研究機関 ほか
日 系 出 展 企 業	㈱LIXIL グループ、YKK AP㈱他
専　用　U R L	http://www.bauchina.com （英語/中国語）

アジア太平洋地域をリードする「建築システムソリューション、高度建築技術、建材」見本市 BAU China 過去最多の企業参加を記録し、盛況のうちに幕を閉じた。会場では製品のイノベーションの紹介と業界動向に関する情報交換が活発に行われ、また併催の会議プログラムでは、スマートで持続可能なエネルギー効率の良いソリューションが、今後も業界の主要な議題であり続けることを明確に示した。



BAU China 2019 では、前回開催回に比べ 2 ホール追加し、過去最大規模の全 10 ホール 54,000 ㎡で開催され、Aluk 社、Hoermann 社、Jung Lixil 社、Oezer 社、Resysta 社、Reynaers 社、YKK などの国内外の企業 778 社が、自社の製品やイノベーションを紹介した。また今回は前回比 17%増の 120,000 人以上が来場し、すべての面において過去最高を記録した。また、中国国外からの来場者数は前回より 20%増え、国際化を加速させた。今回の結果を見ても、BAU China は、国際レベルで専門知識の移転を促進し、広くイノベーションを推進することによって、アジアの建築業界に重要な貢献を果たしているといえる。

今回、関係者とともに BAU China を訪問した、ドイツ経済・地域開発・エネルギー担当相の Hubert Aiwanger 氏は、見本市の重要性を強調して「今年ここ上海で、世界有数の見本市 BAU がメッセ・ミュンヘンの主催により成功裏に開催されていることを大変嬉しく思う。出展社数と来場者数の増加は、高品質で効率的で人間味のある建物と都市開発に対する中国の需要の増大を示している。BAU China は、最近の建築に関する話題を定常的に提供するとともに、常に世の中の動きを把握し、建築業界向けのアイデア、コンセプト、そしてソリューションのトレンドを取り入れた魅力的な見本市あり続けている」と述べた。

明日の建築部門の推進力

BAU China の中で開催されてた中国建築設計エキスポ (CADE)も多くの関心を集めた。今年で 2 回目の開催となる CADE は、BAU China の一部として、中国建築学会と共同で開催された。今年の CADE における主要な議題は「人と建築と技術」で、新しい技術と現代建築との相互関係にとっての実行可能なソリューションを提供する場となった。

業界のトレンドからみたテーマは、引き続き、持続可能性、エネルギー効率、デジタル建設ソリューションの実現である。また併催の会議プログラム BAU Congress China（BCC）は、「中国の建築の未来」を中心に据えたテーマで開催され、業界のトレンドに関するトピックを取り上げた。日本建築界の第一人者である石上純也氏など、世界的に名の通った人物の講演によって、BCC にも多くの聴講社をひきつけた。BCC 開催中に発表された第 1 回 International Urban Project Award（IUPA）においても、「建築の未来」が主題であり、この賞はヘルシンキ中央図書館(Oodi Public Library) が受賞した。設計を担当した建築設計事務所 ALA Architects を代表して授与式で登壇した Niklas Mahlberg 氏は、「IUPA を受賞したこと、そして BCC で国際的な建築家たちと意見交換をする機会を持つことができて大変嬉しく思う。ヘルシンキ中央図書館（Oudi Library）は、都市環境に新たな意味をもたらし、コミュニティ全体にパワーを与える未来志向の建造物であり、また、全体的に持続可能で、エネルギー効率を追求した例でもある。したがって、BCC、IUPA の両方のテーマにもマッチしている」と述べた。

プレハブ材料・グリーンビルディングフォーラムでは、専門家による近代的な生産工程に関する意見交換が行われ、また建築部材のプレハブ化が環境適合性の向上にどのように役立つかについて議論が交わされた。

中国 Roofing and Waterproofing 協会との新たな協力合意

2017 年に FENESTRATION BAU China として初回開催以来、展示セグメントは一貫してミュンヘンで開催されている BAU に沿って統合されてきた。そして進化を遂げた FENESTRATION BAU China は、今年 2019 年に BAU China という新たな名前でスタートを切った。今回から建築ソリューション/CADE、デジタル化 とビルディングオートメーション、フローリング、屋根、防水などの新しいセグメントを追加し、5,000 ㎡以上も規模を拡張した。また、中国 Roofing and Waterproofing 協会と新たに手を結ぶことで、この分野への参入の大きな一歩を踏み出した。メッセ・ミュンヘン副会長の Renhard Pfeiffer は「この協業によって生まれた付加価値を参加された皆様に提供できることを大変嬉しく思っている。今後、BAU China と China Roofing & Waterproofing Expo は同時開催される。来年北京で、2021 年には、上海新国際博覧中心（SNIEC）での開催となる予定だ」と説明した。

数字で見る BAU China

今回の BAU China は、中国を含む 78 カ国（前回開催：68 カ国）から総来場者数；120,000 人以上を記録した。中国を除く来場者の多かった国は、順に韓国、日本、タイであった。
出展社数は 20 カ国から 778 社（2018 年：656 社）で、出展社数上位の国は、中国を除いて順に、ドイツ、日本、イタリアであった。出展規模は、前回開催時より 6%拡大した。

次回の BAU China は、2020 年 10 月 29 日から 11 月 1 日まで北京で開催される。

BAU China に関する詳細情報ならびに写真は、www.bauchina.com、Facebook まで

資料請求、出展申込み、各種お問い合わせ先：
メッセ・ミュンヘン日本代表部
株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン
〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階
Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 e-mail: info@messe-muenchen.jp
URL: www.messe-muenchen.jp（日本語）www.messe-muenchen.de（英語 / ドイツ語 ）